

平成18年度エコフィード関連事業一覧

一般予算（エコフィード推進対策）	JRA予算（リサイクル飼料利用促進）
<p>1 概要</p> <p>(1) 農業競争力強化対策民間団体事業（公募型） 1,653（1,620）百万円の内数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコフィード認証制度の創設 食品残さ等を原料とする飼料の安全性を担保するような仕組みを検討する認証制度創設協議会（仮称）の設置 ・ エコフィード需給実態調査の実施 認証制度の基礎となる利用意向調査及び全国的な排出実態の調査の実施 ・ 広報活動 食品産業関係者、生産者、消費者などを対象としたPR資料等の編集・作成、関係者による推進会議、シンポジウム等の開催への支援 <p>(2) 広域連携産地競争力強化支援事業（直接採択ハード事業） 5,980（5,166）百万円の内数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料化施設の整備 食品残さの飼料化利用につながる県域を越えた広域的な取組について、国の直接採択による飼料化施設の整備を支援 <p>2 事業実施主体等 民間事業者、（社）中央畜産会、（社）配合飼料供給安定機構等</p> <p>3 補助率 （1）定額 （2）1／2以内等</p>	<p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画検討委員会の開催 事業の実施設計を行う企画検討委員会の開催 ・ 安全性確保ガイドラインの作成 原料収集、運搬、処理・加工、利用段階のハザード分析・遵守事項をとりまとめ、関係者が踏まえるべきガイドラインを作成 国が行う認証制度の支援材料として利用可能 ・ 栄養特性評価手法の開発 リサイクル飼料の栄養価を迅速に把握できる栄養特性評価手法の開発 生産者にインセンティブを付与することが可能 ・ 指導者（アドバイザー）育成研修等の実施 地域の畜産団体等が開催する地域研修会等への支援 <p>2 事業実施主体等 （社）配合飼料供給安定機構</p> <p>3 補助率 定額</p>